

目でみる社会科

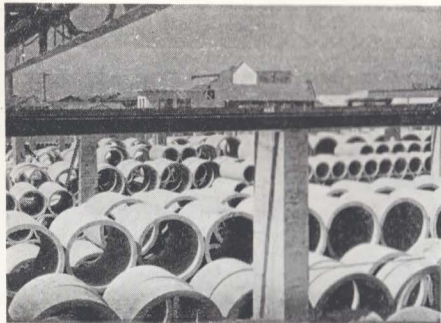


東京

日野をたずねて



日野観光協会



羽田ヒューム管 株式会社

当社は大正15年に今の羽田飛行場の近くで創業し、昭和12年に砂利の多量に採れる現在の多摩川の畔に移った。資本金は2億円敷地は約43,000平方米、従業員は約200人で月産、

4,000トンである。ヒューム管とは円心力を利用して造る鉄筋入りのコンクリート管のことで「ヒューム」とは考案したオーストリア人の名前である。内径は75耗から2,300耗まであり上下水道用水、工場導排水用等に用いられている。

花村菊江
鳴海日出夫
コロムビア台協団

日野音頭

森寿美子 作詩
石本美由起 補作
通藤実 作曲



五

日野の輪りは 町中出る
多摩の音も 浅川も
唄に浮かれて 音頭とる
ヨイヨイ 来てみな
ヨイヨイ 住んでみな

日野は ヨイヨイ
ヨイヨイがヨイヨイ

四

四季を影どり 咲く花々よ
春は花見の 百草園
秋は平山 ハイキング
ヨイヨイ 来てみな
ヨイヨイ 住んでみな

日野は ヨイヨイ
ヨイヨイがヨイヨイ

三

日野の自機は 高橋不動
かけた願いが 叶うてか
秋にやあめも 腹にゆく
ヨイヨイ 来てみな
ヨイヨイ 住んでみな

日野は ヨイヨイ
ヨイヨイがヨイヨイ

二

多摩の自然に おとぎの国の
夢を築いた 動物園
ここは日本の アフリカさ
ヨイヨイ 来てみな
ヨイヨイ 住んでみな

日野は ヨイヨイ
ヨイヨイがヨイヨイ

一

日野はよいとこ 武蔵の野原
空の青さと 水のよき
町は繁昌の 意気の良き
(囃) ヨイヨイ 来てみな
ヨイヨイ 住んでみな

日野は ヨイヨイ
ヨイヨイがヨイヨイ

富士電機株式会社豊田工場

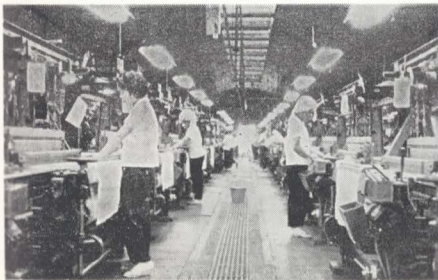
富士電機豊田工場は産業の近代化に必要ないろいろの計器、オートメーション装置を造る工場として日本有数のものです。

工場は精密な計器を造るため特に清潔に保たれるよう考えられています。小さな部品から組み立てまで全部工場内で行なわれ細心の注意で計器が造りだされてゆきます。ここで造られた計器は製鉄、化学、電力等全国各地の主要産業工場で働き、また海外にも輸出されて好評を得ています。

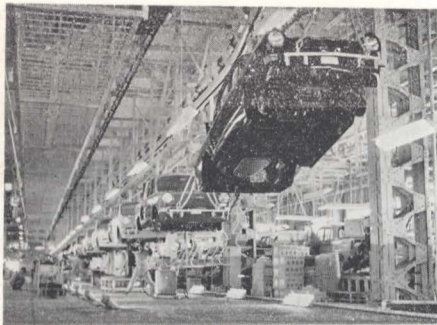


日本篩絹株式会社

当社の主要製品である製粉用篩絹の生産は従来スイスが世界的に独占していたがその頃の日清製粉株式会社々長、正田貞一郎氏が国産化を計画し、昭和9年11月同社の傍系会社として設立された。以来研究を重ねた結果篩絹は勿論、ナイロン、其の他合成繊維に依る各種工業用資材を生産し、製品は国内大製粉会社並びに



各業界の有力会社に納入し、又世界各地（アメリカ、カナダ、南米、濠州、フィリッピン、ヨーロッパ、中近東、台湾、韓国、アフリカ等）へ輸出している。



日野自動車 工業株式会社

明治43年の東京瓦斯電気工業株式会社を前身として創業し大正6年から自動車の生産を続けている。

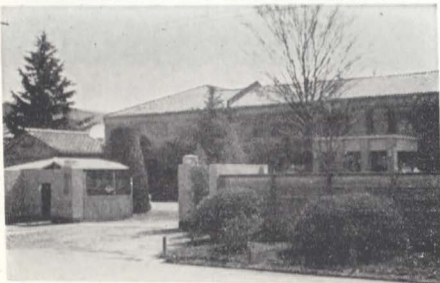
当工場は昭和15年に完成し戦時中は主として軍用車輛を製造していたが

戦後大型バス、トラックの生産を開始し現在では乗用車コンテッサ、ルノーを始めいろいろの自動車を造っている。特に当社の大型バス、トラックは全国各地で活躍している。総面積約50万平方米、建坪約17万平方米あり従業員は5,000人を数えている。

神鋼電機株式会社東京工場

当社は大正6年三重県に神戸製鋼所鳥羽工場が建てられたのがその始めである。東京工場は昭和18年に日野町に建てられた。その後同社の電機部門が独立して現在の神鋼電機と云う名称に変わった。製品はモーター、発電機、産業用の車、レジスター、振動機

器等で従業員は約4,700人で資本金は30億円である。事業所は鳥羽、伊勢、東京、大阪他六カ所にある。





小西六写真工業株式会社日野工場

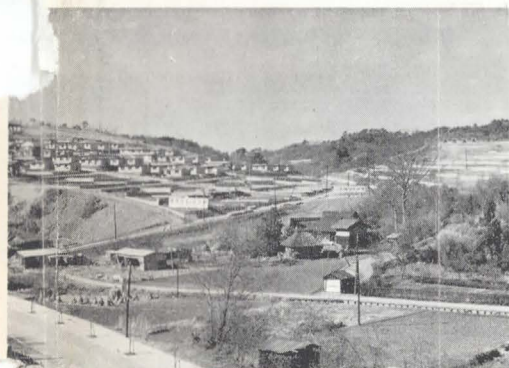
日野台には非常に質の良い水が豊富に出るので有名な「さくらフィルム」を製造する小西六写真工業株式会社日野工場が建てられている。化学研究所もあり、敷地約16万平方米、建物は6万平方米、従業員2,000人の立派な工場である。カメラで使う白黒やカラーのフィルムはもとより映画用、レントゲン用、印刷用、学術用、航空用等すべてのさくらフィルムが透明なペースから一貫してつくられ遠く海外まで売り出されている。



オリент時計 株式会社日野工場

当社は昭和25年7月事業を開始し今年で12年になる。工場は秩父、奥多摩の連山を背景とし多摩の清流に臨み、精密工業には最適な環境のなかで約1,600名の従業員が腕時計

の生産に従事している。昭和33年には国産時計として、アメリカカナダに多量に輸出し、好評を博している。この度貿易の自由化に際して更に製品の向上を期し諸外国品に劣らない優秀な時計の生産に努力を続けている。



多摩丘陵の宅地造成 京王線や中央線に乗ってみる

多摩丘陵の変貌に気がつく。近年宅地造成のためにブルドーザーがうなりをたてて緑の丘は一変してローム層を露出し、日野町は宅地化しつゝある。

多摩平田地 日野町の多摩平田地は東京のベッドタウンとして発展した。この団地の住民は「東京の軽井沢」と呼んで健康的な住みよいことを誇っている。



平山城址公園

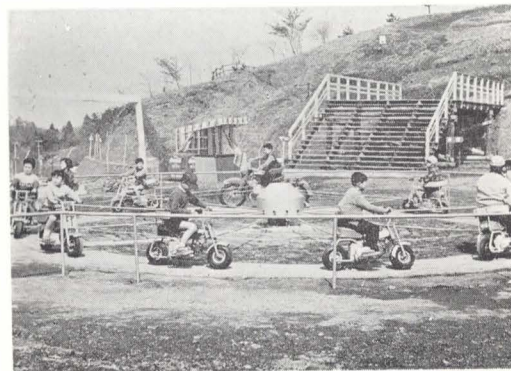
多摩丘陵の一角にあり、眺望のすぐれた土地である六国台に立つと其の名の如く、遠く武蔵野台地、秩父奥多摩、富士、丹沢の山々が望まれる。又ここには蝶や鳥の資料を集めた平山城資料館がある。この付近は鎌倉の頃平山季重の所領であった。季重は日奉氏の子孫で源氏に属し、宇治川や一の谷の合戦に勇名をとどろかした。今その館あところと云われている平山小学校の庭には、平山季重遺蹟之碑がある。



多摩テック

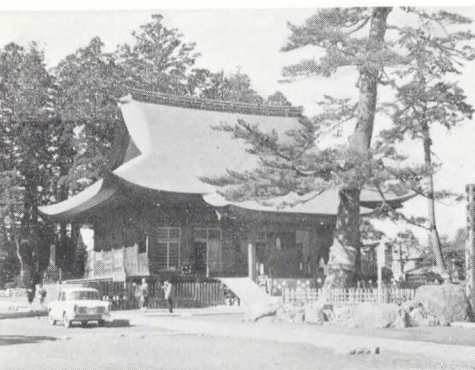
多摩テックとは約13万平方米の多摩丘陵に自分で動かす乗物を沢山揃えた自動車の遊園地である。子供も大人もエンジンつきの乗物に親しみ自然に交通の知識車の扱い方が身につくように、子供自バイ、ゴーカート等10数種の小型オートバイエンジンを利用した新しく珍しい乗物を用意し好評を博している。

特にオートバイ運転技術向上のために山登りコースデコボコ道、傾斜コースがあり、持込みや、貸オートバイで運転できる。



多摩川と浅川 多摩川の中流、浅川の落ち会うあたりは地名を「落川」という。河原のまるい石ころは推積岩が主でルーベでやっと見える小さな化石を含んだものもある。附近に野草も多く多摩の山々の眺めも素晴らしい。ここに立つと真冬ですら気持がよい。

草木を大切にして下さい

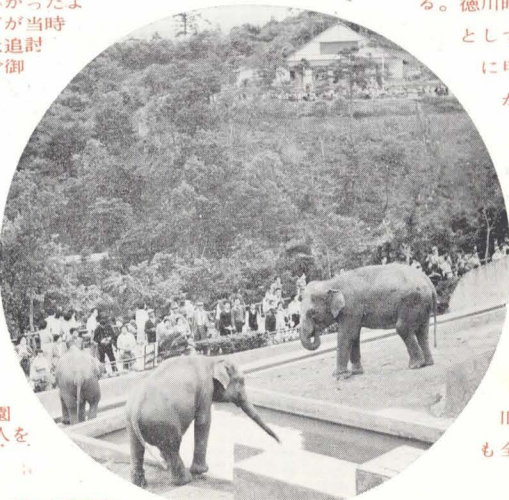


高幡不動尊 高幡不動尊（真言宗智山派別格本山）詳しくは高幡山明王院金剛寺と云い清和天皇の刺額で慈覚大師が建立した。もと山上にあったが建武2年8月4日(1335)の暴風雨のため倒壊したので時の住僧、義海が麓に移建して現在に至る。不動堂は康永元年(1342)の建立、仁王門は年代不詳だが昭和21年共に国宝に指定された。五部権現は寺の鎮守で都重宝である。この三棟は昭和36年に復元修理を終った。その他文永10年(1273)の罫口がある。神牌五基、暦応3年(1340)は重要文化財に指定されている。境内に上杉憲顕の墓や新選隊近藤土方の碑がある。

百草園 梅の名所で富士や武蔵野の眺望がよい。牧水は此所に住んで「青海のうねりのごとく起伏せる岡の国ありほととぎすなく」と詠んだ。奈良時代に創立という松蓮寺の旧跡で江戸時代には風流人の出入が多かったようで今は詩句碑や心字池などが当時を偲ばせる。八幡様は阿部氏追討の際源義家の詣でたところで御神体は鎌倉時代のもので美術史的に有名である。縄文土器や石器、住居跡もある。

都立多摩動物園

昭和31年11月1日東京都が着工し約2年半の歳月を費して昭和33年こどもの日に開園した。目下工事中的のアフリカ園を合わせると面積は427000平方メートル。動物は約152種800余点で主としてアジアの動物が集められてある。この動物公園は自然の生態が見られる放養式で堀などで危険防止がされてある。入園者は年々増加し一年間約100万人を数えている。



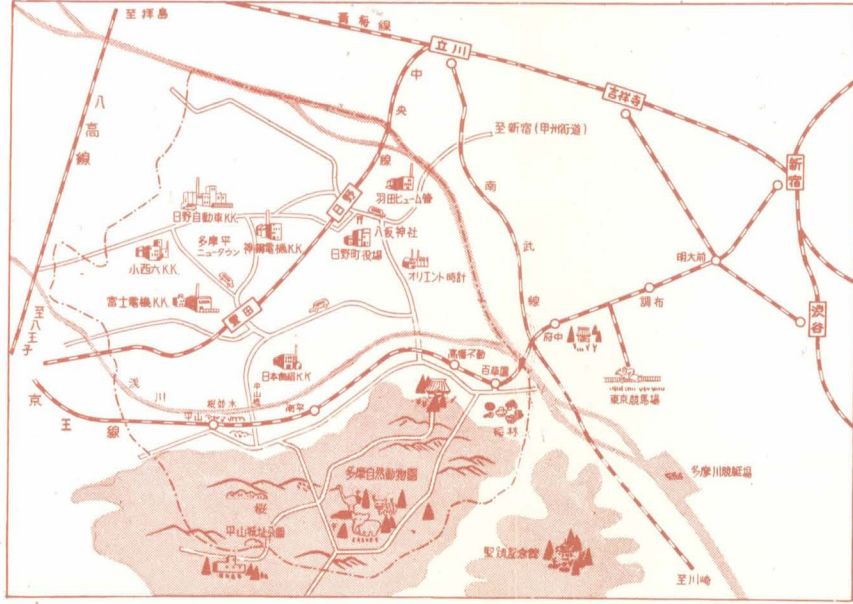
動物をかわいがつて下さい

日野町の概要

日野は古くは飛火野と称した。この地は幕末に勇名を天下にとどろかせた土方歳三の出生地として知られている。徳川時代は甲州街道の宿場町として発達したが、明治23年に甲武鉄道（今の中央線）が開通し、明治36年には町制を施行した。

その後大工場が相次いで、建てられ工業都市化されると共に団地の造成によって人口は五万を越えるに至った。昭和33年多摩動物公園が造られ附近の名所旧蹟と共に観光地としても全国に知られている。

日野町の全望



多摩丘陵

「あかこまを山野に放し捕りにて、多摩の横山徒歩行かやらむ」と古い万葉集に出てくるがこの「多摩の横山」は、現在の多摩丘陵とほぼ同じ所を指すと思はれる。多摩丘陵は高尾山の東から浅川多摩川の南岸にわたり、長く広がったゆるやかな起伏をもつ幼年期の地形である。この丘陵は大昔は海であったが其の後海は後退し陸地となり、後箱根火山の爆発により火山灰が降り丘陵の赤土になっている。多摩丘陵には観光地も多く又近時宅地造成が急速に進行中である



国宝群のある 高幡不動尊